

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年1月11日(2018.1.11)

【公開番号】特開2017-195803(P2017-195803A)

【公開日】平成29年11月2日(2017.11.2)

【年通号数】公開・登録公報2017-042

【出願番号】特願2016-88283(P2016-88283)

【国際特許分類】

C 1 2 Q	1/68	(2018.01)
C 1 2 N	15/115	(2010.01)
C 1 2 N	15/09	(2006.01)
G 0 1 N	33/50	(2006.01)
G 0 1 N	33/68	(2006.01)
G 0 1 N	33/48	(2006.01)

【F I】

C 1 2 Q	1/68	Z N A A
C 1 2 N	15/00	H
C 1 2 N	15/00	A
G 0 1 N	33/50	P
G 0 1 N	33/68	
G 0 1 N	33/48	M

【手続補正書】

【提出日】平成29年11月20日(2017.11.20)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

KK-LC-1に対する特異的結合物質、KK-LC-1遺伝子のcDNAを増幅するためのプライマーセット又はKK-LC-1遺伝子のmRNAに特異的にハイブリダイズするプローブ、を備え、胃下部領域に由来する胃組織試料のKK-LC-1の発現の検出に用いられる、早期胃癌検出キット。

【請求項2】

前記胃組織試料が幽門腺に由来するものである、請求項1に記載の早期胃癌検出キット。

【請求項3】

KK-LC-1に対する特異的結合物質を備え、前記特異的結合物質が蛍光色素又はポジトロン核種で標識されている、請求項1又は2に記載の早期胃癌検出キット。

【請求項4】

前記特異的結合物質が蛍光色素で標識されており、内視鏡による検出用である、請求項3に記載の早期胃癌検出キット。

【請求項5】

ヘリコバクター・ピロリ感染検出薬を更に備える、請求項1~4のいずれか一項に記載の早期胃癌検出キット。

【請求項6】

胃組織試料におけるKK-LC-1の発現を検出する工程を備え、前記胃組織試料が胃

下部領域に由来するものである、早期胃癌細胞の検出方法。

【請求項 7】

前記胃組織試料が幽門腺に由来するものである、請求項6に記載の早期胃癌細胞の検出方法。

【請求項 8】

前記胃組織試料におけるヘリコバクター・ピロリ感染を検出する工程を更に備える、請求項6又は7に記載の早期胃癌細胞の検出方法。